

SR-S332TR1 V20.07 変更内容一覧

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V14.06～V20.06 MLAG利用時	ループが発生した影響などでMLAGを構成する一方の装置のみがCPU高負荷状態となり、対向装置との連携が途絶え孤立した状態になると、ネットワークが正常な状態に戻った後も、対向装置との間でMLAGが構成できない場合がある。
2	V14.06～V20.06 MLAG利用時	ループが発生した影響などでMLAGを構成する一方の装置のみがCPU高負荷状態となり、対向装置との連携が途絶え孤立した状態になると、その状態が解消するまで、ブロードキャストやマルチキャスト宛ての packets を折り返し転送や重複転送してしまう場合がある。